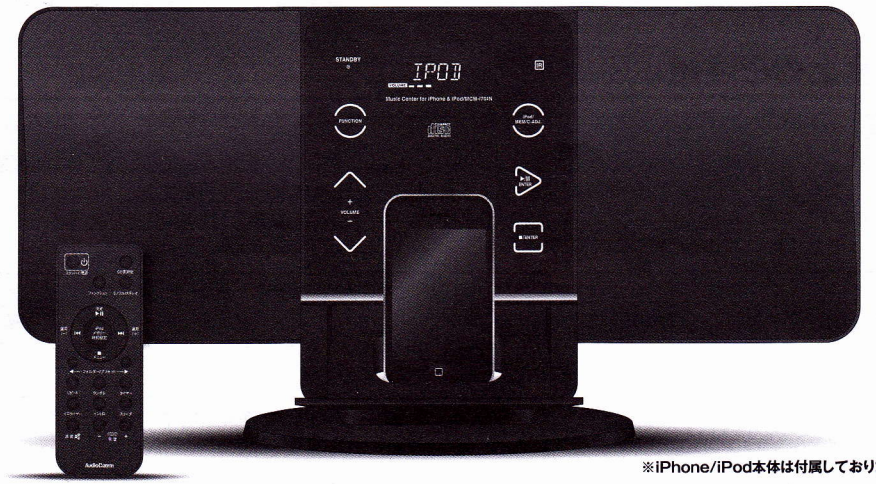
AudioComm®

Made for iPod iPhone

MUSIC CENTER for iPhone & iPod

ミュージックセンター for iPhone & iPod

MCM-i701N



※iPhone/iPod本体は付属しておりません。

取扱説明書 保証書付

⚠ 警 告 **電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。"**なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

「Made for iPod / iPhone」とは、iPod / iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※iPod、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

目　次

◆安全上のご注意 …… 1～3
◆本機のセッティングについて …… 4
◆電源について …… 4
◆各部の名称 …… 5～6
◆時刻を設定する …… 7
◆ラジオ放送を聴く …… 8～9
◆CDを聴く …… 10～12
◆iPhone／iPodの音楽・音声を聴く …… 13～14
◆SDカード・USB内の音楽を聴く …… 15～16
◆外部機器の音楽・音声を聴く …… 17
◆便利な機能
スリープ・消音・イコライザー・
ランダム再生・イントロ再生 …… 18
タイマー …… 19
◆ヘッドホンで聴く時は …… 20
◆故障かなと思ったら …… 20
◆お手入れ方法 …… 21
◆保証書とアフターサービスについて …… 21
◆主な仕様 …… 21
◆保証書 …… 裏表紙

この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの附属的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●お客様または第三者がCD、iPod、iPhoneまたは外部接続機器へ記録した内容の損害
●再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

安全上のご注意

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示の使用例

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードを交換する	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。
異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠注意

禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
禁止	●電源プラグを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。
禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	●壁に掛けてご使用の場合は、必ず本体背面のスペーサーを立てて使用してください。電源コードが圧迫され、火災・感電・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意(前ページから続く)

禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
乾電池の電極性に注意	●リモコンに電池を挿入する際は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	●指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	●電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 コンセントから抜く時は必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。
コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

禁止	●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
アンテナに注意	●移動させる場合は、アンテナを壁などから外してください。伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったりして、破損やけがの原因になることがあります。
指を挟まれないように注意	●お子様がCD扉やユニバーサルDock開閉部、SDカードスロット・USB端子の開閉カバーに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
音量に注意	●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
コンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、リモコンの電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。
	●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

コイン型電池(リモコン)を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない	⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は電池を取り外しておく

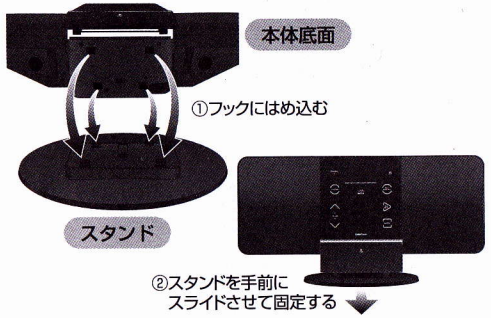
●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

本機のセッティングについて

スタンドを付けて卓上に置く

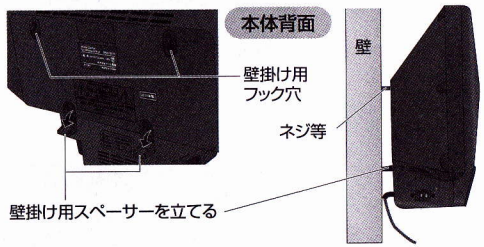
本機底面の差し込み穴に付属スタンドのフックをはめ込み、スライドさせて固定します。



【ご注意】凹凸のない水平な場所に設置してご使用ください。

壁に掛けて使用する

本機背面のスペーサーを立て、壁に取り付けたネジ等にフック穴を掛けます。※ネジは本製品に含まれておりません。壁の材質等に合わせてお客様ご自身でご用意ください。

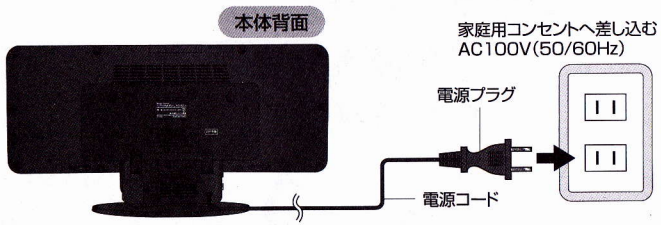


【ご注意】本機の質量は約2.5kgです。壁の強度やフックの耐荷重をご確認の上ご使用ください。また、電源コードへの圧迫を防ぎ、放熱を確保するため、壁掛け用スペーサーは必ず立てた状態でご使用ください。

電源について ⚠ 電源プラグを抜き差しする時は、必ず主電源スイッチをOFFにしてください。

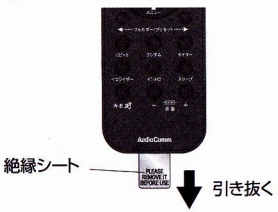
電源プラグを家庭用コンセントに接続します

電源プラグに付いているカバーを外し、家庭用コンセントへ差し込んでください。
※本機を長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

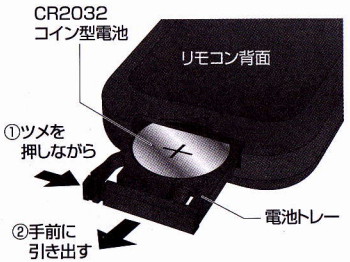


リモコン用電池の取扱方法

●お買い求め時：
リモコン底部に差し込まれている絶縁シートを引き抜いてください。

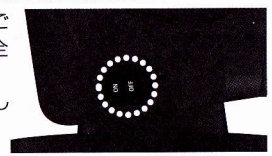


●電池交換時：
・リモコン底部の電池トレーのツメを押しながら、手前に引き出します。
・新しい電池(使用電池はコイン型電池 CR2032)を+と書いてあるほうが上になるように、電池トレーに入れます。
・電池トレーを元通りに奥までしっかり差し込みます。

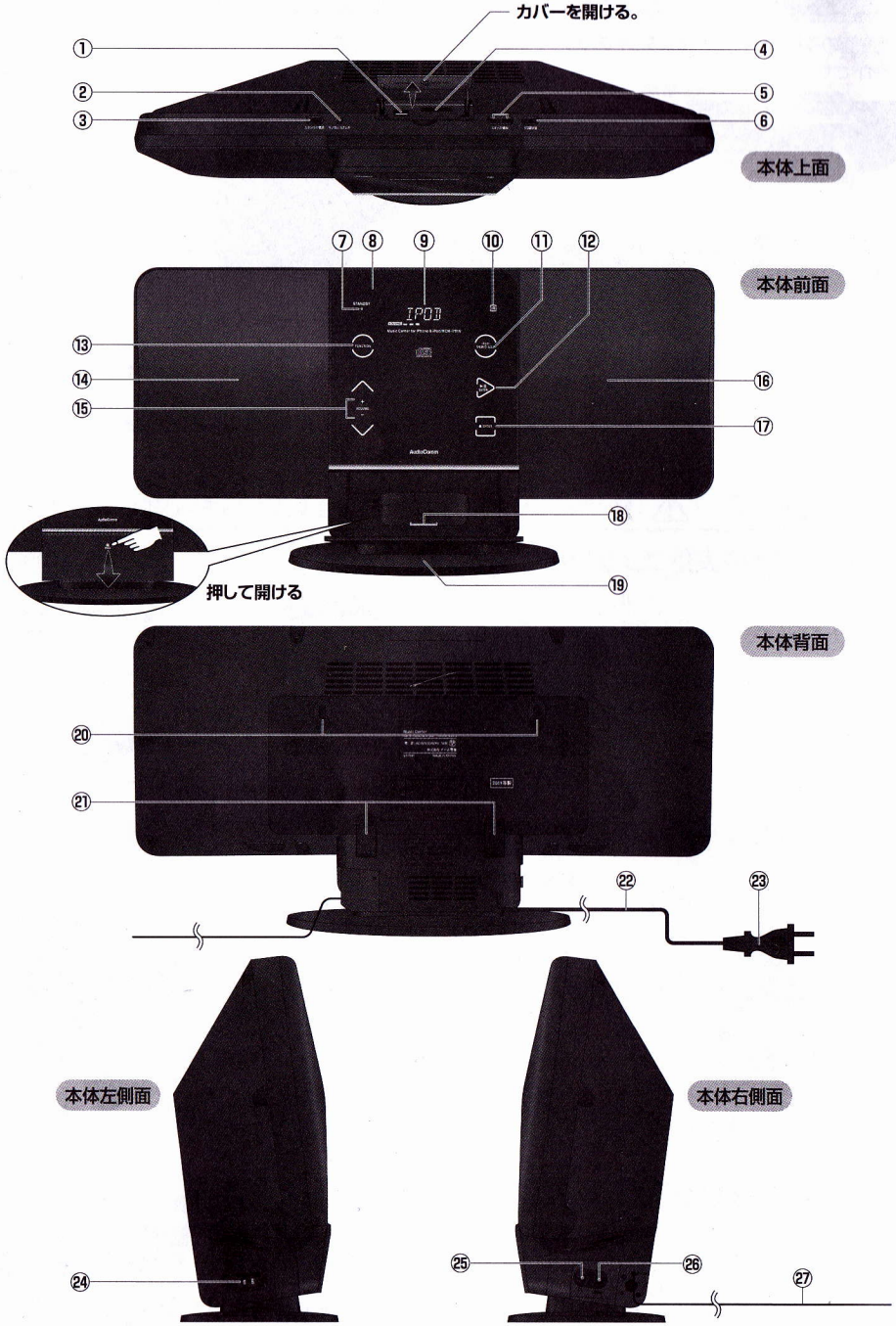


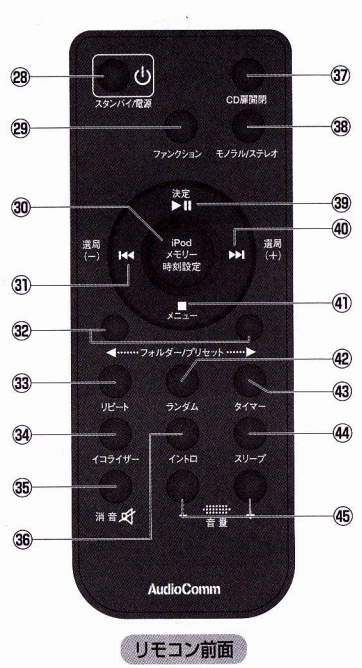
主電源スイッチについて

本機をご使用の際は、本体左側面にある主電源スイッチをONにしてください。OFFではご利用いただけません。ただし、電源プラグの接続、FMワイヤーアンテナの設置の際は、安全のため主電源スイッチをOFFにしてください。
※本書では各種取扱説明の際、特に注記しない限り、主電源スイッチはONの状態で説明しています。

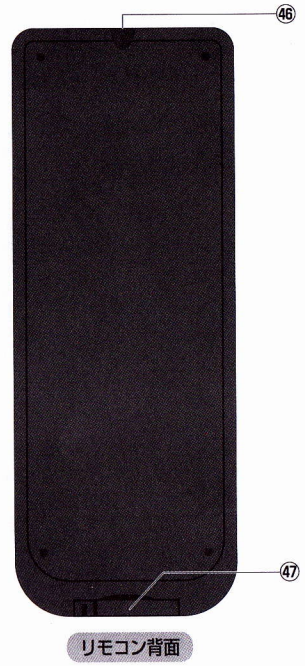


各部の名称





リモコン前面



リモコン背面

本 体

①USB端子
②モノラル／ステレオボタン
③スタンバイ／電源ボタン
④SDカードスロット
⑤スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)
⑥CD扉開閉ボタン
⑦スタンバイランプ※
⑧CD扉
⑨ディスプレイ
⑩リモコン信号受信部
⑪iPod ／メモリー／時刻設定スイッチ※※
⑫再生／一時停止／決定スイッチ※※
⑬ファンクションスイッチ※※
⑭左スピーカー
⑮音量スイッチ(＋／−)※※
⑯右スピーカー
⑰停止／メニュースイッチ※※
⑱ユニバーサルDock
⑲スタンド(着脱式)
⑳壁掛けフック穴
㉑壁掛け用スペーサー
㉒電源コード
㉓電源プラグ
㉔主電源スイッチ
㉕ヘッドホン端子
㉖LINE IN(外部音声入力)端子
㉗FMワイヤーアンテナ

※スタンバイランプは主電源スイッチがONで、電源OFFの時に点灯します(電源ON時は消灯します)。
※※の各スイッチは電源ON時に表示され、指でタッチすることで操作できます(主電源OFF時やスタンバイ時には表示されません)。

リモコン

㉘スタンバイ／電源ボタン
㉙ファンクションボタン
㉚iPod ／メモリー／時刻設定ボタン
㉛選局ボタン (−)
㉜フォルダー／プリセットボタン (◀／▶)
㉝リピートボタン
㉞イコライザーボタン
㉟消音ボタン
㊱イントロボタン
㊲CD 扉開閉ボタン
㊳モノラル／ステレオボタン
㊴再生／一時停止／決定ボタン
㊵選局ボタン (+)
㊶停止／メニューボタン
㊷ランダムボタン
㊸タイマーボタン
㊹スリープボタン
㊺音量ボタン (+／−)
㊻信号送信部
㊼電池トレー

時刻を設定する

本体　リモコン

スタンバイ/電源　スタンバイ/電源

STANDBY　スタンバイ状態では、スタンバイランプが点灯します。

❶ 電源が入っている時は、スタンバイ／電源ボタンを押して、電源を切ります（本体左側面の主電源スイッチはONにしてください）。

iPod/MEM/C-ADJ.

❷ 「24HOUR」または「12HOUR」と表示されるまで、iPod ／メモリー／時刻設定ボタンを長押しします。

▼

スキップ/選局

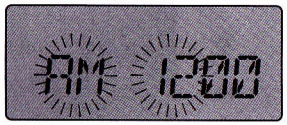
▼

iPod/MEM/C-ADJ.

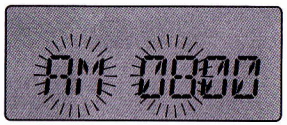
❸ 選局ボタン（+／−）を使って、「12HOUR」、「24HOUR」のいずれか任意の表示にしてから、iPod ／メモリー／時刻設定ボタンを押します。

▼

❹ 「時」表示が点滅しますので、選局ボタン（+／−）で「時」を設定し、iPod ／メモリー／時刻設定ボタンを押します。

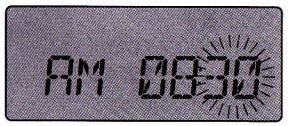


▼



▼

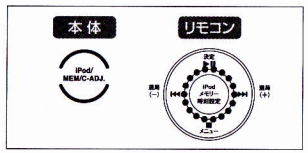
❺ 「分」表示が点滅しますので、選局ボタン（+／−）で「分」を設定し、iPod ／メモリー／時刻設定ボタンを押します。



❻ ディスプレイに設定した時刻が表示されます（約10秒後に電源OFFになります）。

ヒント

- 電源ON時に時刻を確認するには、iPod ／メモリー／時刻設定ボタンを長押しします（約10秒間時刻を表示します）。
- 電源OFF時は、スタンバイ／電源ボタンを除くどのボタンを押しても時刻を確認できます（約10秒間表示）。ただし、時刻が設定されていない場合は「--:--」と表示されます。



ご注意

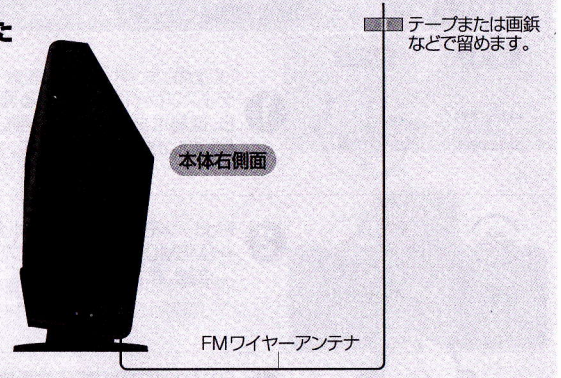
- 何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作が解除されます。その場合は最初からやり直してください。
- 主電源スイッチをOFFにすると、時刻設定が工場出荷時の状態に戻ります。その場合は最初から設定し直してください。

ラジオ放送を聴く

FMワイヤーアンテナの設置のしかた

❶ 本体右側面にあるFMワイヤーアンテナを伸ばし、テープまたは画鋲などを使って壁などに軽く留めます。

❷ 受信状況を確かめながらいちばん良く受信できる位置に調整します。
※「ラジオ放送を聴く」（P.8）参照



ラジオ放送を聴く

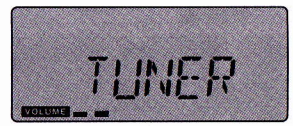
本体　リモコン

スタンバイ/電源　スタンバイ/電源

❶ スタンバイ／電源ボタンを押して、電源を入れます。

FUNCTION　ファンクション

❷ ファンクションボタンを数回押して「TUNER」を選びます。



VOLUME +/−　音量 −/+

❸ 音量ボタン（+／−）で音量を調節します。0~30までの間で調節できます。

約5秒間音量数値が表示され、その後元の表示に戻ります。

スキップ/選局

❹ ディスプレイに表示される周波数を見ながら、選局ボタン（+／−）で放送局を選びます。
※選局の際、選局ボタン（+／−）を長押しすると、周波数表示が自動的に進み、最初に受信できた放送局を選局します。
※良好なFMステレオ放送を受信するとディスプレイにステレオアイコンが点灯します。

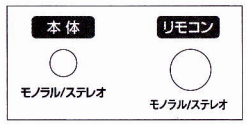
ステレオアイコン

スタンバイ/電源　スタンバイ/電源

❺ ラジオを切るときは、スタンバイ／電源ボタンを押して電源を切ります。

ヒント

モノラル／ステレオボタンを押すと、音声をモノラルに変更できます（ディスプレイに約5秒間「MONO」と表示されます）。受信状態が良くない時にノイズ等を軽減できます。ステレオに戻すにはもう一度ボタンを押します。



次ページに続く

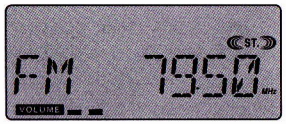
ラジオ放送を聴く(つづき)

選局メモリー　最大30局まで登録できます。

本体　リモコン

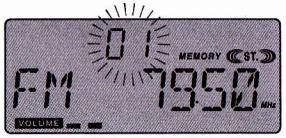
スキップ/選局

❶ ディスプレイに表示される周波数を見ながら、選局ボタン(+/−)を押してメモリー登録したい放送局を選びます。



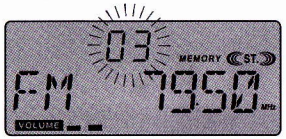
iPod/MEM/C-ADJ.

❷ iPod／メモリー／時刻設定ボタンを押します。
☞「MEMORY」が点灯し、プリセット番号が点滅します。



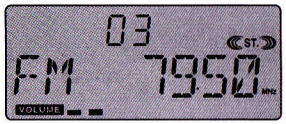
❸ リモコンのフォルダー／プリセットボタン(◀／▶)を押して、登録したいプリセット番号を選びます。

◀……フォルダー/プリセット……▶



iPod/MEM/C-ADJ.

❹ iPod／メモリー／時刻設定ボタンをもう一度押すと登録されます。
☞周波数の上にプリセット番号が表示されます。



❺ ステップ1〜4を繰り返して、放送局を随時登録します。

メモリー登録したラジオ局を選ぶには

リモコン

◀……フォルダー/プリセット……▶

登録した放送局は、リモコンのフォルダー／プリセットボタン(◀／▶)で選局することができます。
※フォルダー／プリセットボタン(◀／▶)で選局した場合のみ、プリセット番号が表示されます。

ご注意

- すでに登録してあるプリセット番号に別の放送局を登録すると、前に登録した放送局は消えますのでご注意ください。
- 主電源スイッチをOFFにすると、選局メモリーが工場出荷時の状態に戻ります。その場合は、最初から設定し直してください。

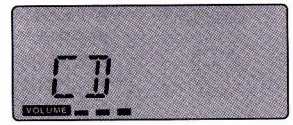
CDを聴く　CDに収録したMP3およびWMAファイルの再生に対応しています。

初めて使用する時は、輸送時等のレンズ保護のために装着してあるレンズ用保護シートを外してください。

本体　リモコン

スタンバイ/電源

❶ スタンバイ／電源ボタンを押して、電源を入れます。

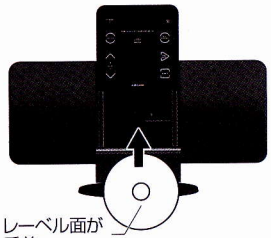


FUNCTION

❷ ファンクションボタンを数回押して「CD」を選びます。

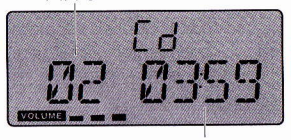
CD扉開閉

❸ CD扉開閉ボタンを押します。
☞CD扉が上にスライドして開くので、ディスクを正しく装着します(レーベル面を手前にして回転部の中心軸にしっかりと装着してください)。

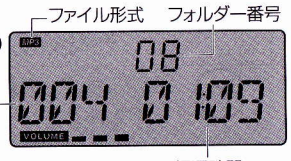


❹ もう一度、CD扉開閉ボタンを押します。
☞CD扉が閉まり、「READING」と表示された後に、自動的に再生が始まります。

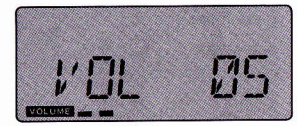
音楽CDの表示例



MP3 CDの表示例



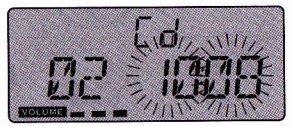
❺ 音量ボタン(+/−)で音量を調節します。
0~30までの間で調節できます。



約5秒間音量数値が表示された後、元の表示に戻ります。

ENTER

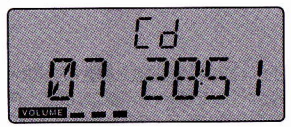
❻ 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、停止したところから再生を再開します。



一時停止中は経過時間表示が点滅します。

■/ENTER

❼ 再生を止める時は、停止／メニューボタンを押します。



停止すると総曲数と収録時間が表示されます。

スキップ再生／サーチ再生

本体　リモコン

スキップ/選局

●スキップ再生

再生中に選局ボタン(+)を1回押すごとに次の曲に進み、曲の頭から再生が始まります。選局ボタン(−)を押すと、再生中の頭に戻ります。連続して2回押すと前の曲の頭から再生が始まります(以後、押すごとに前の曲の頭に戻って再生します)。

●サーチ再生

再生中に選局ボタン(+)を押し続けると早送りになり、選局ボタン(−)を押し続けると早戻しになります。経過時間表示を確かめながら、希望のところで指を離すと、そこから再生が始まります。

次ページに続く

リピート再生 ※本体では操作できません。リモコンで操作してください。

リモコン

●1曲リピート
再生中または停止中に、リモコンのリピートボタンを1回押すと、現在選ばれている曲が繰り返し再生されます。
☞ディスプレイに「**REPEAT**」が表示されます。

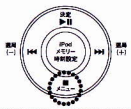
●全曲リピート
再生中または停止中にリピートボタンを2回押すと、CD内の全曲が繰り返し再生されます。
☞ディスプレイには「**REPEAT ALL**」が表示されます。

ヒント

●リピート再生を解除するには、「**REPEAT**」または「**REPEAT ALL**」の表示が消えるまで、リピートボタンを押してください。
●MP3／WMAファイルのCDでフォルダー階層を持つディスクの場合、リピートボタンを2回押すとフォルダー内の曲を繰り返し再生するアルバムリピート「**REPEAT ALBUM**」になり、3回押すとディスク内のすべての曲を繰り返し再生する全曲リピートになります。

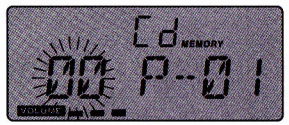
プログラム再生 最大32曲までプログラム登録できます。

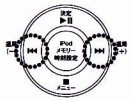
本体　リモコン



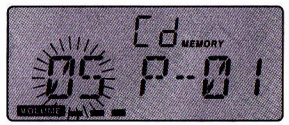
❶ CDを再生中の場合は、停止／メニューボタンを押して、再生を停止します。

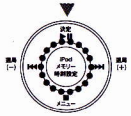
❷ iPod／メモリー／時刻設定ボタンを押します。
☞P-01（プログラム番号）が表示され、00（曲番号）が点滅します。





❸ 選局ボタン（+／−）で最初に登録したい曲番号を選び、iPod／メモリー／時刻設定ボタンを押します。

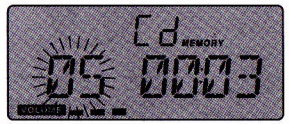




❹ P-02と表示されるので、ステップ3と同様の手順で2番目以降のプログラムを登録します。

上の場合、プログラム番号1にCD内の5曲目を登録することを意味します

❺ すべて登録が終わったら、再生／一時停止／決定ボタンを押します。
☞プログラム再生が始まります。



プログラム再生中は「MEMORY」アイコンが表示されます。

ヒント

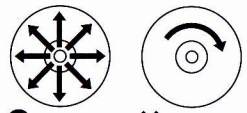
●登録されたプログラムがすべて再生し終わると停止し、CD内の総曲数と総収録時間が表示されますが「MEMORY」アイコンは表示されたままです。そのまま再生／一時停止／決定ボタンを押すと、再度プログラム再生が始まります。
●プログラムを解除するには、停止／メニューボタンを2回押して、ディスプレイの「MEMORY」アイコンを消してください。またCD扉を開閉した場合や他のファンクションに移行した場合もプログラムは解除されます。
●プログラム再生中にリモコンのリピートボタンを1回押すと、再生中の曲が繰り返し再生されます。ディスプレイに「**REPEAT**」が追加表示されます。また、プログラムボタンを2回押すと、プログラム登録された全曲が繰り返し再生されます。この時はディスプレイに「**REPEAT ALL**」が追加表示されます。
●プログラムを修正するには、iPod／メモリー／時刻設定ボタンを数回押して変更したいプログラム番号を表示させ、選局ボタン（+／−）で曲番号を変更した後、もう一度iPod／メモリー／時刻設定ボタンを押します。

ご注意

●プログラム再生とランダム再生の併用はできません。
●何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作が解除されます。その場合は、最初からやり直してください。

MP3／WMAファイルの再生については、「SDカード・USBメモリー内の音楽を聴く」(P.15〜16)もご参照ください。

CD取扱上の注意



●信号面(虹色に光っている面)を傷つけたり、指紋等がつかないように持ってください。指紋や汚れがついた時には、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。
●信号面やレーベル面に紙やテープなどを貼らないでください。
●寒いところから急に暖かいところに本機を移動させると、レンズに水滴がついたり結露することがあります。その場合は、数分間放置すると、結露が取り除かれて正常に動作するようになります。
●ひび割れやそり、ハート形や八角形など特殊形状のCDは使用しないでください。
●テープや接着剤で補修したCDは使用しないでください。
●CDを取り出す時は、CD扉の開閉に注意し、ディスクの回転が完全に止まってから取り出してください。
●本機やディスクを温度や湿度が高いところに置かないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。

本機はCD-R/RWの再生に対応しています。	●CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。 ●ファイナライズ処理のされていないCD-R/RWは再生できません。 ●本機はCD-R/RWの文字情報(CD-TEXT)には対応しておりません。

【ご注意】
●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。
●コンパクトディスク(CD)規格に準拠していない著作権保護技術付音楽ディスクは、動作、音質を保証できません。
●コピーコントロールCDに関する詳細については、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせいただきますようお願いいたします。
●DualDisc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作、音質を保証できません。

iPhone ／ iPodの音楽・音声を聴く

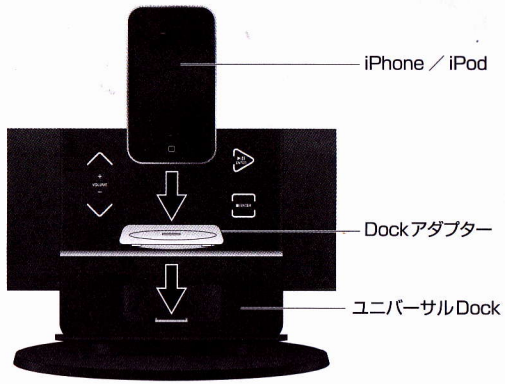
本機に接続可能な機種は、別紙「iPhone ／ iPod対応機種一覧表」をご確認ください。

- ●本機はiPhone ／ iPod専用のユニバーサルDockを装備しております。Dockコネクター装備のiPodやiPhoneなら、充電機能および本製品本体・リモコンによる操作が可能です。
- ●Dockコネクターを装備しないiPod shuffle等の機種は、φ3.5mmステレオミニプラグケーブル(別売)によるLINE IN(外部音声入力)接続で対応しています。ただし、充電および本製品本体・リモコンによる操作はできません。接続方法は「外部機器の音楽・音声を聴く」(P.17)を参照してください。
- ●本機にはDockアダプターは付属しておりません。ユニバーサルDockとiPhone ／ iPodの取り付けには、お手持ちのiPhone ／ iPodに付属しているDockアダプターをご使用ください。Dockアダプターがない場合は、ご使用の機種に対応したものをアップルストア等でご購入ください。

本機とiPhone ／ iPodを接続する

iPhone ／ iPodを装着する時には必ずDockアダプターを取り付けてから装着してください。
Dockアダプターを取り付けずに装着すると、本機のコネクター部分が破損する可能性があります。

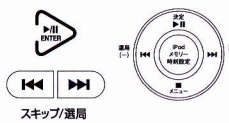
1. 本体前面の「PUSH」を押し、ユニバーサルDockを手前に開けます(ロックされるまで手前に押し下げてください)。
2. お手持ちのiPhone ／ iPodに付属しているDockアダプターをユニバーサルDockに装着します。
3. Dockアダプターの上からiPhone ／ iPodを取り付けます。
   ☞正しく接続されると充電が始まります。
   ※データ保護のため、本機とiPhone ／ iPodの接続は両方ともスタンバイ状態で行ってください。また、iPhone ／ iPodのアクセサリー(イヤホン、カバー等)はすべて取り外してください。



本体　リモコン

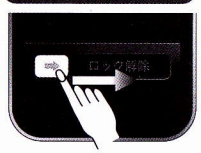
1. スタンバイ／電源ボタンを押して、電源を入れます。

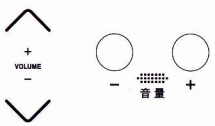
2. ファンクションボタンを数回押して「IPOD」を選びます。



3. iPhone/iPodのロックを解除し、画面を見ながら再生等の操作をしてお楽しみください。本機では、再生、一時停止、スキップ、サーチ、iPodメニューの操作ができます。
   ☞操作方法は停止操作を除いてCDを聴く場合と同じです。「CDを聴く」(P.10～12)を参照してください。

iPhone/iPod touch





4. 音量ボタン(+／−)で音量を調節します。0~30までの間で調節できます。

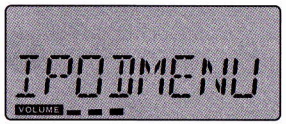
約5秒間音量数値が表示された後、元の表示に戻ります。

5. iPodをユニバーサルDockから取り外す時は、本機とiPod ／ iPhone双方の電源を切った後に行ってください。

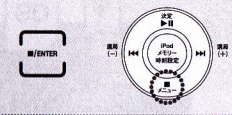
iPodメニューの操作方法

本体　リモコン

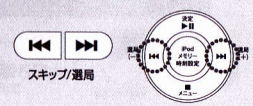
iPhone/iPodメニューを操作するには、iPod／メモリー／時刻設定ボタンを押して、ディスプレイに「IPODMENU」を表示させます。その後、ご希望の操作をしてください(下記参照)。



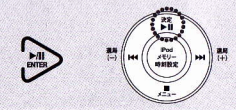
本体　リモコン



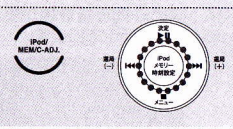
●停止／メニューボタン
ひとつ上位のメニューフォルダーに戻る。
最上位の階層で押すと、メニュー間を移動します。



●選局ボタン(+／−)
メニュー項目を選ぶ(カーソルを移動する)



●再生／一時停止／決定ボタン
選択を決定し、選択したメニュー内に入る



●iPod ／メモリー／時刻設定ボタン
iPhone/iPodの再生モードに戻る。

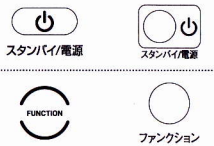
SDカード・USBメモリー内の音楽を聴く

MP3およびWMA形式の音楽ファイルを再生できます。

本機ではSDカードやUSBメモリー内の音楽ファイル(MP3 / WMA形式)を再生して楽しむことができます。
●SDカード、USBメモリーそれぞれ最大32GBの容量までサポートしています(SDHC対応)。

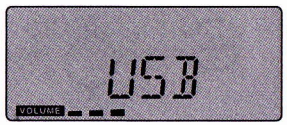
本機にてMP3 / WMAファイルを再生する場合、下記の制限がありますのでご注意ください。
●対応ビットレート/ MP3 : 8~256kbps(VBR対応)　WMA : 8~192kbps
●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
●本機で再生できる容量は最大99フォルダー/ 999ファイルまでです。
●読み取り不可能なメディアが装着された場合は「NO CD」、「NO USB」、「NO CARD」などと表示されます。
●本機がCD、SDカード、USBメモリー内のMP3 / WMAファイルを読み込む順序は以下の通りです。
フォルダー : ルート階層から順に深い階層へ。同一階層は収録の早い方から遅い方へ。
ファイル : 収録順序の早い方から遅い方へ。
※上記容量を超えるフォルダー/ファイルは読み込まれません。

本体　リモコン

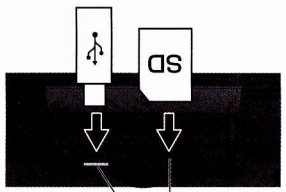


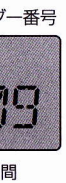
❶ スタンバイ/電源ボタンを押して、電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押して「USB」または「CARD」を選びます。

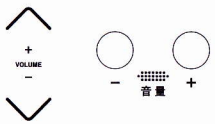


❸ SDカードまたはUSBメモリーを接続します。
☞「READING」と表示された後に、自動的に再生が始まります。

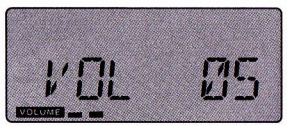




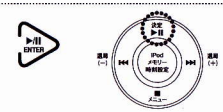
ヒント
停止、スキップ再生/サーチ再生の操作方法はCDを聴く場合と同じです。「CDを聴く」(P.9~10)を参照してください。



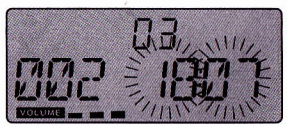
❹ 音量ボタン(+/−)で音量を調節します。
0~30までの間で調節できます。



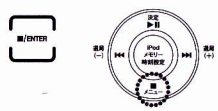
約5秒間音量数値が表示された後、元の表示に戻ります。



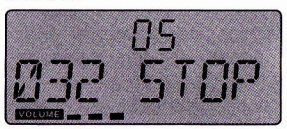
❺ 再生中に再生/一時停止/決定ボタンを押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、停止したところから、再生を再開します。



一時停止中は経過時間表示が点滅します。



❻ 再生を止める時は、停止/メニューボタンを押します。

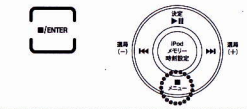


停止するとフォルダー数と総曲数が表示されます。

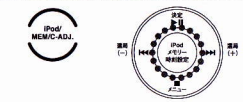
ご注意
USB端子に接続できるのはフラッシュメモリーのみです。デジタルオーディオプレーヤー等をUSB接続した場合、動作の保証はいたしません。特にハードディスクタイプのプレーヤー等を接続することは絶対にお止めください。故障の原因になります。

プログラム再生　最大32曲までプログラム登録できます。

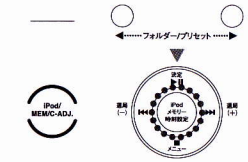
本体　リモコン



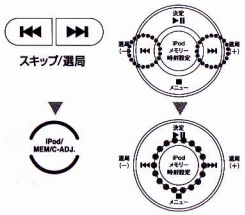
❶ USBメモリーまたはSDカード内の音楽を再生中の場合は、停止/メニューボタンを押して、再生を停止します。



❷ iPod/メモリー/時刻設定ボタンを押します。
☞P-01(プログラム番号)と000(曲番号)が表示され、00(フォルダー番号)が点滅します。



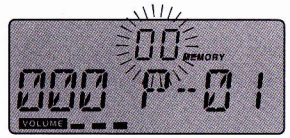
❸ リモコンのフォルダー/プリセットボタンを数回押して、登録したい曲のあるフォルダー番号を選び、iPod /メモリー/時刻設定ボタンを押します。

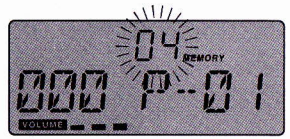


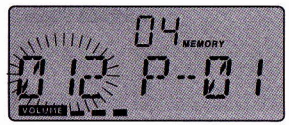
❹ 選局ボタン(+/−)で登録したい曲番号を選び、iPod /メモリー/時刻設定ボタンを押します。

❺ P-02と表示されるので、ステップ3~4を繰り返して、2番目以降のプログラムを登録します。

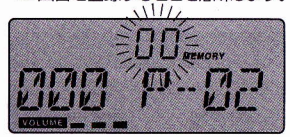
❻ すべて登録が終わったら、再生/一時停止/決定ボタンを押します。
☞プログラム再生が始まります。

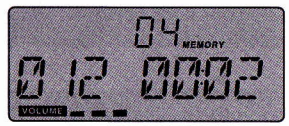






上の場合、4番目のフォルダーにある12曲目を登録することを意味します。





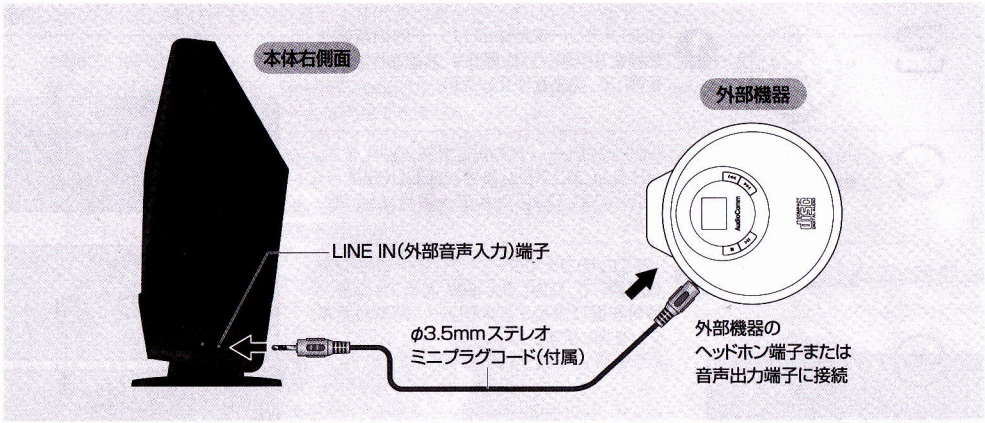
プログラム再生中は「MEMORY」アイコンが表示されます。

ヒント
●登録されたプログラムがすべて再生し終わると停止し、メディア内の総フォルダー数と総曲数が表示されますが、「MEMORY」アイコンは表示されたままです。そのまま再生/一時停止/決定ボタンを押すと、再度プログラム再生が始まります。
●プログラムを解除するには、停止/メニューボタンを2回押して、ディスプレイの「MEMORY」アイコンを消してください。また他のファンクションに移行した場合もプログラムは解除されます。
●プログラム再生中にリモコンのリピートボタンを1回押すと、再生中の曲が繰り返し再生されます。ディスプレイに「***REPEAT***」が追加表示されます。また、プログラムボタンを2回押すと、プログラム登録された全曲が繰り返し再生されます。この時はディスプレイに「***REPEAT ALL***」が追加表示されます。
●プログラムを修正するには、iPod /メモリー/時刻設定ボタンを数回押して変更したいプログラム番号を表示させ、選局ボタン(+/−)で曲番号を変更した後、もう一度iPod /メモリー/時刻設定ボタンを押します。

ご注意
●プログラム再生とランダム再生の併用はできません。
●何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作が解除されます。その場合は、最初からやり直してください。

外部機器の音楽・音声を聴く

本体右側面のLINE IN(外部音声入力)端子と外部機器を、付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードで接続して、音楽などを楽しむことができます。Dockコネクターを装備しないiPod shuffle等の機種や、ポータブルCDプレーヤー等のデジタルオーディオプレーヤーは以下の方法で接続してください。



本体　リモコン

スタンバイ/電源

スタンバイ/電源

❶ 外部機器と本機の電源を切ります(本体左側面の主電源スイッチも切ります)。

❷ 外部機器のヘッドホン端子または音声出力端子と、本体右側面のLINE IN(外部音声入力)端子をφ3.5mmステレオミニプラグコード(付属)で接続します。

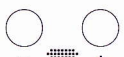
❸ 外部機器の電源を入れて、音量を絞ります。

❹ 本体左側面の主電源スイッチをONにした後、スタンバイ／電源ボタンを押して電源を入れます。

FUNCTION

ファンクション

❺ ファンクションボタンを数回押して「AUX」を選びます。



❻ 外部機器側で再生等の操作をしてお楽しみください。
※音量操作は本機と外部機器側のどちらでもできますが、本機側で過度に大きくした場合、他のファンクションに移行時、大音量を発することがありますので、十分ご注意ください。

スタンバイ/電源

スタンバイ/電源

❼ 聴き終わったら、本機、外部機器双方の電源を切ります。外部機器との接続を解除する時は、安全のため本体左側面の主電源スイッチも切ってから行ってください。

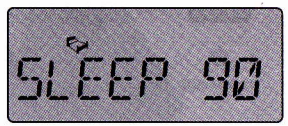
便利な機能

スリープ

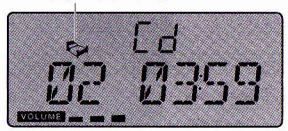
リモコン

スリープ

電源OFFまでの時間を設定します。リモコンのスリープボタンを押すたびに、10分単位で「90」から「80」、「70」…「10」と表示が変化しますので、設定したい時間を選びます。
☞設定後はディスプレイにスリープアイコンが表示されます。
☞設定を解除するためには、スリープボタンを数回押してスリープアイコンを消します。
☞スリープ設定中にもう一度スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が約5秒間表示されます。



スリープアイコン



消音

リモコン

消音

リモコンの消音ボタンを押すと一時的に音声を消します。もう一度押すと解除されます。

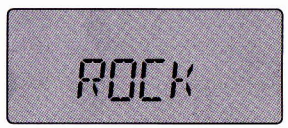
消音中はボリューム表示が点滅

イコライザー

リモコン

イコライザー

リモコンのイコライザーボタンを押すと、お好みの音質を選べます。
☞イコライザーボタンを押すたびに、「PASS」→「CLASSIC」→「ROCK」→「POP」→「JAZZ」と音質が変化します。

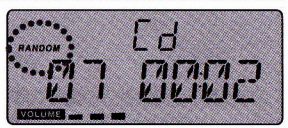


ランダム再生　CD、SDカード、USBメモリー再生時のみ

リモコン

ランダム

リモコンのランダムボタンを押すと、選択中のメディア(CD、SDカード、USBメモリー)内の音楽をランダムに再生します(再生中の場合は、次の曲に移ってランダム再生が始まります)。
☞解除するにはもう一度ランダムボタンを押します。



イントロ再生　CD、SDカード、USBメモリー再生時のみ

リモコン

イントロ

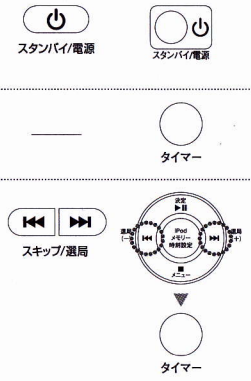
リモコンのイントロボタンを押すと、選択中のメディア(CD、SDカード、USBメモリー)内の音楽を10秒ずつ再生します。
☞再生中にイントロボタンを押すと、再生中の曲の最初に戻ってイントロ再生が始まります。
☞イントロ再生中にイントロボタンを押すと通常の再生に戻ります。

次ページに続く

便利な機能(つづき)

タイマー　本機ではタイマーON(電源ON)とタイマーOFF(電源OFF)の時刻設定ができます。

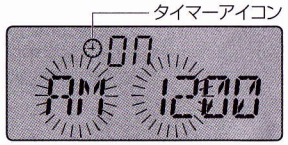
本体　リモコン



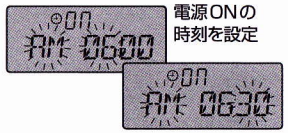
❶ 電源が入っている時は、スタンバイ／電源ボタンを押して、電源を切ります(本体左側面の主電源スイッチはONにしてください)。

スタンバイ状態では、スタンバイランプが点灯します。

❷ リモコンのタイマーボタンを押します。
☞「On」とタイマーアイコンが表示され、「時」表示が点滅します。

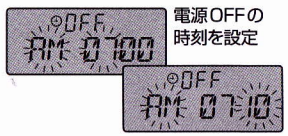


❸ 選局ボタン(+／−)で電源をONにする「時」を設定し、タイマーボタンを押します。

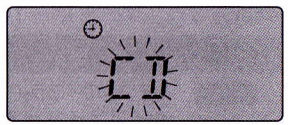


❹ 「分」表示が点滅しますので、選局ボタン(+／−)で「分」を設定し、タイマーボタンを押します。

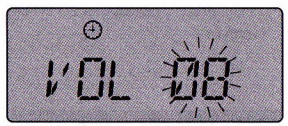
❺ ディスプレイに「OFF」とタイマーアイコンが表示され、「時」表示が点滅しますので、ステップ3〜4と同じ手順で、電源OFFの「時」「分」を順に設定します。



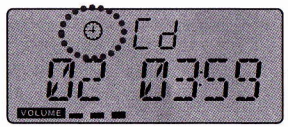
❻ 選局ボタン(+／−)でタイマー起動時のファンクション(TUNER、CD、USB、CARD、iPod)を選び、タイマーボタンを押します。



❼ 選局ボタン(+／−)でタイマー起動時の音量を選び、タイマーボタンを押します。
☞電源ON時刻→電源OFF時刻、起動時のファンクション→音量と順に表示された後、自動的に電源OFFになります。



タイマー設定が有効な場合は、電源ON中にも、タイマーアイコンが表示されます。



ヒント

- ●何も操作しない時間が約10秒間続くと、設定操作が解除されます。その場合は最初からやり直してください。
- ●2回目以降に設定する時は、ステップ2の「タイマーボタン」は長押ししてください(前回の設定時刻が表示されますが、上記と同様の操作で新しく設定し直すことができます)。
- ●タイマー設定を解除するには、電源OFF中にタイマーボタンを押します(一時的に電源が入り、ディスプレイのタイマーアイコンが消えた後、電源が切れます)。
- ●タイマー設定を解除後、電源OFF中にタイマーボタンを押すと、前回の設定内容が順に表示され、タイマー機能が再度ONになります。
- ●周囲の迷惑になる恐れがありますので、不在時にはタイマー機能を使わないでください。
- ●タイマー設定で指定したファンクションに対応したメディア(CD、SDカードなど)が装着されていない時は、設定時刻になると自動的にラジオが立ち上がります。
- ●主電源をOFFにすると、タイマーはリセットされます。時刻設定後、タイマーを再設定してください。

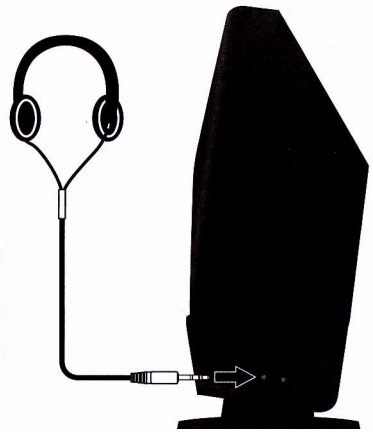
ご注意

- ●時刻を設定しないとタイマー機能は使えません。P.7を参照して必ず現在の時刻を設定してください。
- ●周囲の迷惑になる恐れがありますので、不在時にはタイマー機能を使わないでください。
- ●主電源をOFFにすると、タイマーはリセットされます。時刻設定後、タイマーを再設定してください。

ヘッドホンで聴く時は

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本体右側面にあるヘッドホン端子につないでください。
ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ヘッドホンを使用する時は、本機の音量を下げた状態で接続してください。また使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。



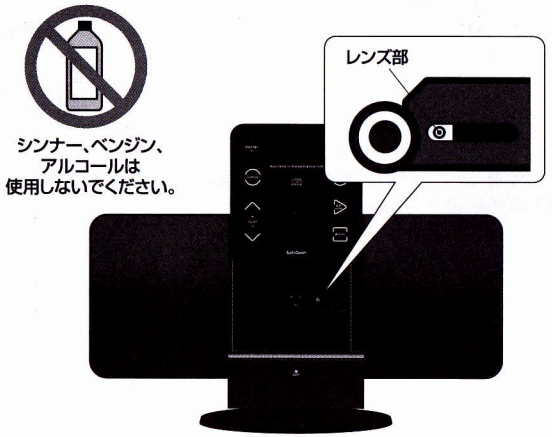
故障かな?と思ったら

症　状	確　認　事　項
音が出ない	●本体の主電源スイッチや電源が入っていますか。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●メディアに合わせたファンクションが正しく選ばれていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。
iPhone／iPodの音楽が再生されない	●iPhone／iPodが正しく装着されていますか。 ●ファンクションで「IPOD」が選ばれていますか。 ●iPhone／iPodが再生状態になっていますか。 ●本体の主電源スイッチや電源が入っていますか。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されたままになっていませんか。
iPhone／iPodが充電できない	●iPhone／iPodが正しく装着されていますか。 ●本体の主電源スイッチや電源が入っていますか。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話は本機から離して使用してください)。
CDが演奏されない	●本体の主電源スイッチや電源が入っていますか。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●ファンクションで「CD」が選ばれていますか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。
SDカードやUSBメモリーの音楽が再生されない	●本体の主電源スイッチや電源が入っていますか。 ●電源プラグがコンセントにしっかりと接続されていますか。 ●メディアに合わせて、ファンクションとして「SD」または「USB」が選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子やSDカードスロットに正しく接続されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●音量が最小になっていませんか。

お手入れ方法

●本体のクリーニング

本機表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。



●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CD扉を開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー(エアスプレー)でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。

主な仕様

電源	AC100V　50／60Hz リモコン用　CR2032コイン型電池×1（付属）
ラジオ周波数	FM 76.0～90.0MHz（100kHzステップ）
スピーカー	口径99mm×2
最大出力	10W×2 (r.m.s)
消費電力	38W
外形寸法	本体　幅480mm×高さ250mm×奥行137mm（突起物含まず）
質量	約2.53kg（本体）
付属品	リモコン、リモコン用コイン型電池 1個（リモコンに装着）、 φ3.5mmステレオミニプラグコード、取扱説明書（保証書）

※本製品にDockアダプターは付属しておりません。iPod、iPhoneに付属のものをご使用ください。Dockアダプターが付属していない場合はアップルストア等でご購入ください。
※仕様・外観等は予告なく変更することがあります。
※iPod、iPhoneは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

iPod/iPhone 対応機種一覧表

―― 本製品に iPod/iPhone 本体は付属しておりません ――

iPod mini
4GB 6GB

iPod
4th generation
20GB

iPod
4th generation
40GB

iPod
4th generation (color display)
20GB 30GB

iPod
4th generation (color display)
40GB 60GB

iPod
5th generation (video)
30GB

iPod
5th generation (video)
60GB 80GB

iPod classic
80GB

iPod classic
160GB (2007)

iPod classic
120GB 160GB (2009)

iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod nano
2nd generation (aluminum)
2GB 4GB 8GB

iPod nano
3rd generation (video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPod nano
6th generation
8GB 16GB

iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB

iPhone
4GB 8GB 16GB

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
16GB 32GB

iPhone 4
16GB 32GB

iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

※Dockコネクターを装備しないiPod shuffle等の機種およびiPadについては、オーディオ接続ケーブル(付属)を使用しての接続は可能です。ただし、充電および本製品による操作はできません。

※iPod nano 6th generationについては、次の制限があります。
本製品および付属リモコンによるメニュー操作はできません(充電、再生の基本操作は可能)。